

超電導リニア鉄道に関する特別委員会

委員長 古屋 圭司 先生

拝復

7月22日付け貴信、有り難く拝受いたしました。

また、過日は「自民党超電導リニア鉄道に関する特別委員会」で、説明の機会を与えていただき、ありがとうございました。席上、先生の「公共事業は地域の理解がないと絶対にできない。関係者は丁寧な対応をしていたいただきたい」という御発言は心強い限りでした。

当日の会議では、WEBの音声に聞き取りにくいところがありました。念の為、小生の発言部分だけをこちらでテープ起こししましたので、添付します（です・ます調を、である調に改めた以外は、発言のままです）。

現在、国土交通省の有識者会議で、大井川の水問題に関する議論を進めていただいております。有識者会議は国交省と県との間で5項目（①全面公開、②47項目すべての議論、③国交省のJR指導、④委員の中立公正、⑤座長の中立公正）の合意の上で設置されました（添付資料、御参照）。

しかし「会議の全面公開」が守られておりません。多くの方が会議の内容に関心をもっています。地域からは、合意を守らない国交省に対し、厳しい不信の声が上がっております。流域住民・関係者に寄り添い、委員長をはじめ、国会議員の先生方がアクセスできるためにも、有識者会議の全面公開に向けて、国交省に対し是非とも強く御指導くださいますよう、お力添えをお願い申し上げます。

先生には、冒頭の御挨拶で、現場視察にも触れていただきました。いつでも御歓迎申し上げます。今後とも、お力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。時節柄、くれぐれも御自愛ください。

敬具

令和2年7月31日

静岡県知事

川勝平太